

発議案第19号

不活化ポリオワクチンの導入及び予防接種制度見直しに関する意見書について

上記の発議案を別紙のとおり地方自治法第99条及び会議規則第14条第1項の規定により提出します。

平成24年6月14日

八千代市議会

議長 江野澤 隆之 様

提出者	八千代市議会議員	横山博美	印
賛成者	八千代市議会議員	緑川利行	印
	同	坂本安	印
	同	山口勇	印
	同	松井秀雄	印
	同	横田誠三	印
	同	伊東幹雄	印
	同	安原哲	印
	同	嵐芳隆	印
	同	茂呂剛	印
	同	河野慎一	印
	同	塚本路明	印
	同	林隆文	印

同	大	塚	裕	介	印
同	奥	山		智	印
同	菅	野	文	男	印
同	西	村	幸	吉	印
同	海老原		高	義	印
同	秋	葉	就	一	印
同	原		弘	志	印
同	橋	本		淳	印
同	松	崎	寛	文	印
同	小	林	恵美子		印
同	堀	口	明	子	印
同	中	村	健	敏	印
同	皆	川	知	子	印
同	正	田	富美恵		印
同	菊	田	多佳子		印
同	林		利	彦	印
同	成	田	忠	志	印
同	木	下	映	実	印

提案理由

国に対し、予防接種の重要性を踏まえながら、新たなワクチンの定期予防接種化にあたっては、既に定期予防接種となっているワクチン接種も含め、抜本的な制度の見直しを行い、国の責任において必要な財源を確保するよう強く求める。

これが、本案を提出する理由である。

不活化ポリオワクチンの導入及び予防接種制度見直しに関する意見書

国は、今年9月から定期予防接種における生ポリオワクチンの使用を中止し、不活化ポリオワクチンを導入することを発表したところである。さらに11月からはジフテリア・百日せき・破傷風・不活化ポリオワクチン（DPT-IPV）の4種混合ワクチンを導入することも発表している。

予防接種は、感染症対策として最も基本的かつ効果的な対策の一つであり、国民の生命と健康を守る重要な役割を担っている。

不活化ワクチンへの切り替えは、ワクチンの有効性と安全性の向上とともに、通年接種等が可能となることから、より安心して接種が受けられるとともに、接種機会が拡大し、ポリオが流行することのない社会の維持に大きく寄与するものと考えるところである。

しかしながら、生ポリオワクチンに比し、単価が高い不活化ポリオワクチンの接種の導入、また、本市において平成23年度から任意の予防接種として始まった子宮頸がん予防ワクチン等3ワクチンが定期予防接種の対象となれば、いずれも予防接種にかかわる予算措置は国からの補助金がなくなり、全額自治体負担となることから、本市の財政負担が増大することは確実である。

定期予防接種の拡充を求める保護者等の要望は強いものがあることから、安定継続して接種を受ける環境整備がされることは、非常に大きな意味があるものであるが、すべての定期予防接種の財源を本市が確保することは、昨今の厳しい財政状況から極めて困難である。

については、本市議会は、国に対し、予防接種法に基づく定期予防接種について、国の責任において必要な財源を確保するよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年6月27日

八千代市議会

提出先

衆議院議長様
参議院議長様
内閣総理大臣様
厚生労働大臣様